



長野県建築士会

佐久支部

ちくま



佐久の蔵元

～終点のない美酒探求～
進化し続ける酒蔵
創業125年

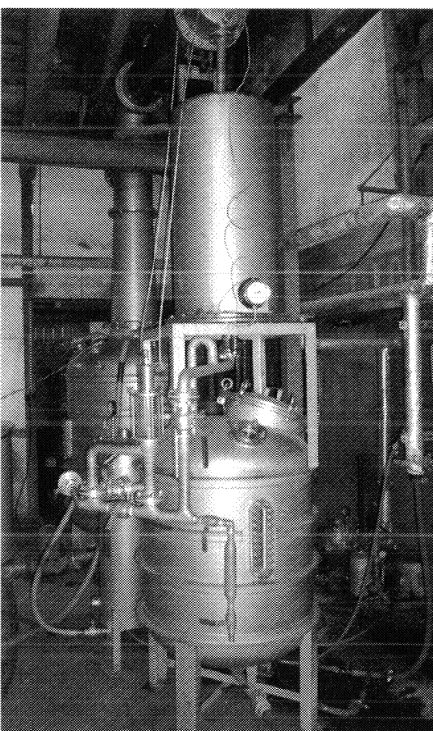
芙蓉酒造協同組合

佐久市平賀5371

「信州佐久の恵まれた自然の中で醸された美酒の数々を、より多くのお客様にお届けしたい。

私たちの酒造りに対する情熱を少しでも感じてもらいたい。そんな想いをこれまででも、これからも・・・

私たちの醸した酒が、人と人をつなぐ架け橋になりますように。」



支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
佐久支部協議会	4～5
事業中間報告	6
委員会活動について	7～9
新年講演会	10
県政ティーミーティング	11～12
特別寄稿	12～13
着任挨拶	13～14
長野県からのお知らせ	15
事務局より	16

モクジ

ご挨拶

(一社) 長野県建築士会佐久支部

支部長 荻原 白



盛夏の候、会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年5月から初心者マークを付けた支部長でしたが、会員の皆さまの暖

かいご支援とご協力により今年はその初心者マークを外す事にします。この一年、どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人長野県建築士会は数年来の懸案事項でもあった法人改革の大きな動きも一段落し平穩無事の様に見えますが、会員減少に歯止めが効かず昨年5月末と今年5月末では全体で88名の減と成り総会員数は2,773名と成りました。

平成22年2月5日本会・理事会において下記「5事業を積極的に展開させるものとする」が承認されました。

- ① 楽しい建築士会づくり
- ② 繋がる建築士会づくり
- ③ 信頼される建築士会づくり
- ④ 学ぶ建築士会づくり
- ⑤ 強固な活動基盤づくり

今年の佐久支部では、上記5事業を基本に「これからの建築士会のあり方」を具体的な活動を実践し本会及び他支部に強くアピールして行く所存です。その為に支部活動基金の一部を今年も取り崩しさせて頂き活発な支部活動が出来る環境を調べていきますので、会員の皆さま

方からのご助言・ご指導をお寄せいただきたいと強く願っております。

昨年10月の第56回建築士会全国大会・島根大会で青年女性委員会の実践活動「佐久穂まちなみ再考プロジェクト」が日本一の栄冠を勝ち取りました。その実践活動が長野県企画振興部広報県民課で評価され6月12日(木)午後、佐久穂町ギャラリーくろさわで阿部知事と支部青年女性委員10名参加で「県政ティーミーティング」が公開で開催されました。知事と各委員は積極的な会話で大変盛り上がり、個々の建築士・建築士会はこれから何をなすべきか、が参加者は観えてきた様でした。

地域の皆さまとの交流連携を通してより良い郷土を創る為に、今年も佐久穂に続く第2弾として『小諸市の既存建築物によるまちづくり』が長野県元気づくり支援金対象事業として採択され、小諸市の全面的協力のもとスタートしました。

会員及び賛助会員との親睦も大切にして幾つかの事業も計画しておりますので、大勢の皆さまのご参加をお待ちしております。

更に10月25日(土)開催の建築士ネットワーク佐久・2014に信州のTV・FMラジオでご活躍の三四六さんに講演して頂きます。会員以外の方々にも広く広報しますのでお知り合いにお声掛けも併せてお願いします。

終りに当り私共、建築士会佐久支部が地域社会から求められ期待される様にみんなで頑張つて、その成果として大きな《花》を咲かせられたらどんなに素晴らしいことかと思っております。

会員の皆さま、今年も一緒に《花も実もそして力もある》佐久支部にしていきましょう。

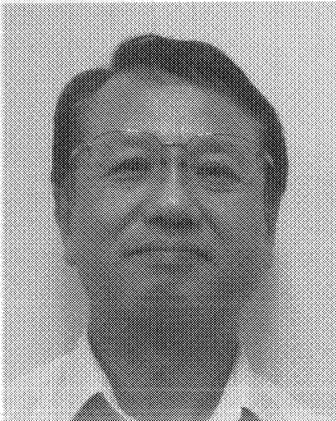
追記。佐久支部5月末現在の会員数は357名(15支部中1位)です。



ご挨拶

長野県佐久地方事務所

建築課長 上原 佳司



佐久地方事務所建築課長の上原佳司と申します。

会員の皆様方には、日頃より、長野県建築・住宅行政に多大なる御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年4月に着任し2年目になり、

大勢の会員の皆様とも顔見知りになりました。

昨年度は、会員の皆様には大変お世話になりました。今年度も引き続き、御付き合いをお願いいたします。

今年も我が家の庭では、家庭菜園をしております。トマト・きゅうり・ナス・ピーマン等を栽培しています。きゅうり等の支柱やネット張り、トマトの雨よけ屋根を作るなど、素人ながら年々良くなってきたと自負しております(笑)。

今年2月の記録的な大雪には、大変、驚かされ、連日の雪かきも非常に大変でした。この大雪は、交通網の寸断等をはじめ、我々の生活に大きな被害と混乱をもたらしたばかりでなく、農業・観光業・商工業など、経済にも大きな影響を与えました。

特に、佐久地域の農業用パイプハウス等の被害が約5600棟で県全体の35%を超える県下で一番大きな被害がありました。

建築関係では、大きな被害の報告はありませんでしたが、カーポートの倒壊等の被害がありました。今後、建築主に対し、カーポートを設置する際は、耐積雪強度を超える積雪時には、雪降ろしが必要である旨の説明や指導をお願いしたいと思います。

5月下旬から6月初旬にかけて真夏を思わせる高温が続く異常気象でしたが、今年は、エルニーニョ現象が起きる可能性が高いとされており、今年の夏は、低温と長雨になりがちになる

予報もあります。もし冷夏になれば、冬に続き「農業・観光業」等の経済への影響が心配されます。

そのような影響が懸念される中ではありますが、今年は平年に比べて3日早い梅雨入りとなりました。

うっとうしくジメジメとして気分まで減入りがちな梅雨期は、体調を崩しやすく日々の生活にも様々な影響があると思いますが、夏期に水不足にならないよう必要な水を蓄えるために重要な時期でもありますので、仕方がないかなと思っております。

さて、県では、御承知のとおり、昨年4月から「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を基本目標とする新しい5か年計画「しあわせ信州創造プラン」がスタートしました。

今年度もこの計画に基づき、県の進める各事業を推進してまいりますので、昨年度と同様に、御理解・御協力をお願いいたします。

また、今年度、7月第4日曜日を「信州 山の日」と定め、「信州の山 新世紀元年」と位置付けて「信州の山」に関する様々な行事等を展開し、その情報を発信していきますので、機会があれば、会員の皆様方も御参加・御協力いただきますようお願いいたします。

本県の建築を取り巻く情勢ですが、経済動向の主要な指標のひとつであります県内の「新設住宅着工戸数」は、3年連続で前年度を上回りました。今年度の動向につきましても前年度を上回っている状況ではありますが、着工戸数が多い「持ち家」で減少していることから、全体的には消費税増税の駆け込み需要の反動が見受けられるため、今後の動向を引き続き注視してまいりたいと思います。

今年度も、重要な住宅施策であります「信州型エコ住宅推進事業(ふるさと信州・環の住まい助成金)」及び「信州型住宅リフォーム促進事業」を引き続き推進してまいりますので、積極的な活用をお願いします。

近年は、建築物等の安心・安全に対する社会的な要求が、より一層強く求められるようになってきておるところですが、会員の皆様方のお力添えをいただきながら、佐久地域の振興と発展に取り組んでまいりますので、よろしく御願いいたします。

結びに、建築士会佐久支部の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝と御活躍を御祈念申し上げまして、会報「ちくま」第51号の発行にあたり、あいさつとさせていただきます。

平成26年度 佐久支部協議会

平成25～26年度 一般社団法人 長野県建築士会佐久支部 委員会名簿

佐久支部第4回協議会が去る5月14日、佐久グランドホテルに於いて、盛大に開催されました。

委員会名簿担当副支部長に変更がありました。各委員の氏名は下記のとおりです。

◎総務企画委員会

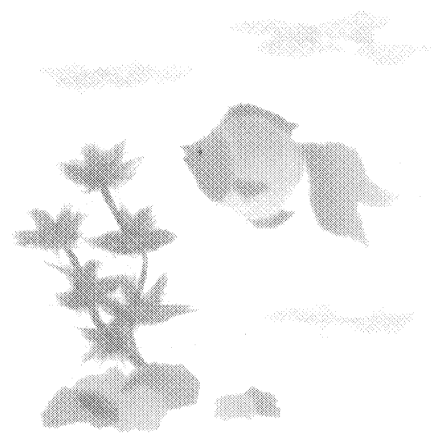
担当副支部長	山口副支部長
委員長	白田 幸夫 (佐久)
副委員長	中島新八郎 (川西)
委員	清水 元旦 (小諸)
	菊池 弘之 (佐久)
	土屋 一男 (御・軽)
	篠原 一男 (南佐久)

◎教育事業委員会

担当副支部長	佐藤副支部長
委員長	茂木 隆 (佐久)
副委員長	小平 稔 (佐久)
〃	箕輪 義則 (川西)
委員	竹花 彰男 (佐久)
	古越 徳秋 (御・軽)
	小須田美一 (南佐久)

◎社会貢献委員会

担当副支部長	高橋副支部長
委員長	吉澤 和彦 (佐久)
副委員長	山田 功 (御・軽)
〃	高橋 厚志 (小諸)
委員	星野 武光 (佐久)
	油井 満夫 (南佐久)
	真嶋 和紀 (佐久)
	甘利 佐賀男 (小諸)
	小林 由美子 (佐久)
	菊池 広美 (佐久)
	高橋 美貴 (佐久)
	芋川 聡 (南佐久)
	小泉 正樹 (川西)



◎情報広報委員会

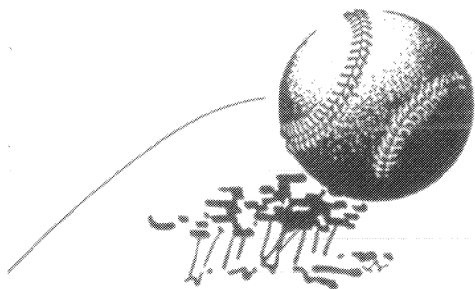
担当副支部長	土屋副支部長
委員長	山浦 孝志 (小諸)
副委員長	上原 明彦 (佐久)
〃	飯沼 勝智 (川西)
委員	大竹 雅英 (小諸)
	青木 祐二 (御・軽)
	櫻井 和也 (南佐久)
	真嶋 和紀 (佐久)
	小穴 久江 (小諸)
	小林 賢司 (小諸)
	荒井 央 (佐久)
	小林夕起男 (佐久)
	本田 典子 (南佐久)
	鈴木 繁之 (川西)
	阿部 義則 (佐久)
	下平 昭夫 (小諸)
	小林 清 (佐久)
	藤巻 宏康 (御・軽)
	小林 由美子 (佐久)
	高橋三七人 (南佐久)

◎青年女性委員会

担当副支部長	赤尾副支部長
委員長	重田 仁志 (川西)
副委員長	飯田 智 (佐久)
〃	新津 輝秋 (佐久)
委員	瀬下 緑 (佐久)
	星野 武光 (佐久)
	真嶋 直行 (御・軽)
	井出 正臣 (南佐久)
	荒木 貴志 (小諸)
	片井 英治 (佐久)
	鎌田 賢太郎 (佐久)
	佐藤 穂高 (佐久)
	星野 仁 (佐久)
	柳澤 洋介 (佐久)
	高見澤 晃 (南佐久)
	他 45歳以下の男性 及び女性

◎交流委員会

担当副支部長	土屋副支部長
委員長	柏木 邦彦 (佐久)
副委員長	大町 栄一 (川西)
委員	大井 正広 (小諸)
	高地 菊男 (佐久)
	小佐波哲哉 (御・軽)
	中嶋 洋 (南佐久)
	竹花 彰男 (佐久)
	堀内 文雄 (南佐久)



平成26年度 事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
3.10～4.14	二級・木造建築士試験申込用紙配布	
4. 1～5.12	一級建築士試験申込用紙配布	
4. 16	第6回三役会	佐久グランドホテル
4. 21	第7回三役会及び第6回幹事会	佐久グランドホテル
4. 25	第1回教育事業委員会	佐久グランドホテル
4. 26	第8回三役会	八風
4. 30	県理事会	長野県建築士会館
5. 2	第1回青年女性委員会	わがや
5. 8	元気づくり支援金交付申請等事務説明会	佐久合同庁舎
5. 10	無料CADソフト スケッチアップ勉強会 及び新入会員歓迎会	かつ栄
5. 10	県青年女性委員会	長野県建築士会館
5. 14	平成26年度支部協議会及び三団体合同懇親会	佐久グランドホテル
5. 23	第2回青年女性委員会	野沢会館
5. 24	第64回県通常総会	メルパルク長野
5. 27	佐久木造住宅耐震推進協議会反省会	かつ栄
5. 29	第1回総務企画委員会	佐久グランドホテル
6. 6	県理事会	メルパルク長野
6. 6	県フォーラム実行委員会	メルパルク長野
6. 10	第1回交流委員会	佐久グランドホテル
6. 12	県政ティーミーティング 青年女性委員参加	佐久穂町
6. 13	泉小学校6年生 景観授業	泉小学校
6. 13	佐久南インター景観をつくる会 花植え作業	泉・岸野地区
6. 16	第1回情報広報委員会	佐久グランドホテル
6. 17	第1回三役会及び第1回幹事会	佐久グランドホテル
6. 18	県建築活動委員会	長野県建築士会館
6. 20～21	関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会「東京大会」	東京都
6. 24	第2回情報広報委員会	佐久グランドホテル
6. 28	「中大規模木造及び 木質構造建築の現状と未来」	佐久勤労者福祉センター

平成26年度 総務・企画委員会活動について

総務・企画委員長 臼田 幸夫

本年度も引き続き総務企画委員長を務めさせていただきますがよろしくお願ひ致します。

昨年度は佐久支部の青年女性委員会が地域実践活動を認められ全国大会に出場、しかも連合会長賞を受賞するという快挙を成し遂げました。三団体合同研修旅行の担当が建築士会だったこともあり他団体のご理解を頂き全国大会会場である島根県への2白3日の研修旅行を実施しました。又、多くのご来賓のご臨席を賜り祝賀会を開催致しました。これらの運営は当委員会で担当させて頂きましたがこのような慶事に関わることは大変喜ばしくやりがいのある事だと感じました。あらためて青年女性委員会の皆様にはお祝いを申し上げます。

昨年度は交流委員会が担当をしていました親睦ゴルフコンペは今年度より再び当委員会の活動となりました。東信ブロックのコンペは佐久支部が三団体のコンペは建築士会が担当です。会員の皆様にはふるってのご参加をお待ちしております。

すでに終了した活動もありますが今年度の主な活動は次の通りです。

1. 東信ブロック会員ゴルフコンペ
佐久支部担当 (7月1日)
2. 三団体ゴルフコンペ
建築士会担当 (9月25日)
3. 「建築士ネットワーク佐久」への参加・協力
(10月25日)
4. 新年講演会の開催 (2月)

上記活動の他に今年度は支部役員と本会の代議員の改選の年です。支部の役員改選では選考委員会の設置「臨時協議会」の開催等、代議員が選挙になった場合は当委員会がお手伝いとなります。滞り無く勧められますよう会員の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願ひ致します。

総務企画委員会ではこのように幅広い活動を通じて支部及び各委員会のスムーズな運営と会員相互の親睦を図り支部活動がより活発になるよう尽力致します。

平成26年度 教育・事業委員会活動について

教育・事業委員長 茂木 隆

日頃より会員及び賛助会員の方々には当委員会の活動に際し、ご理解と御協力を戴き誠にありがとうございます。

今年度で2年目を迎える訳ですが、昨年を振り返りますと、当初描いていた構想が殆どできずに過ぎてしまった事に自分自身大変情けなく思っているところでございます。

当委員会の活動は年5～6回の実務講習会と、2年に一度開催される佐久地域建築文化賞が主な活動になります。

本年度の事業目標は昨年の経験を踏まえて次の様に目標を設定致しました。

○実務講習会について

1. 講習会は会員・賛助会員のみを対象とせず、会員増強も兼ねる事のできる内容を考えて会員になる事のメリットを感じて貰える様な内容をできるだけ取り入れる。
2. 開催方法を1回完結だけでなく、数回に分けた継続式の講習会も考えてゆく。
3. 法規や施工については基準改正時のみだけでなく、既存法規や施工基準の中の身近な内容について勉強会的な講習会も考えて行く。
4. これまで何度か開催してきた省エネルギー法についてはこれからも継続して開催する様になるが、この法に係わる複雑な基準や手続きの流れ等を分かり易くまとめることはできないか検討してゆく。
5. 講習内容については引き続き賛助会員の方々にも随時参加と御協力を戴ける様お願ひして行く。

○建築文化賞について

1. 応募数の減少に伴い出品者が限定されつつ有る現状を改善し、大勢の方々に応募して貰える様検討をして行く。

以上を本年度の事業目標として活動して参りますが、それぞれ難題の多い事業です。会員、賛助会員の皆様方には更なるご理解を戴き活動して参りたいと考えておりますので、是非とも御協力をお願い申し上げます。

平成26年度 社会貢献委員会の活動について

社会貢献委員長 吉澤 和彦

昨年度、社会貢献委員会の活動に多勢の皆様のご参加とご協力、ありがとうございました。特に、ウッドクラフトでは、青年女性委員会の皆さんに、事前準備で材料を集めたり切断などのご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。

おかげさまで、2日間会場でご協力いただいた会員の方々も現場で感じて頂いた様に、大変好評で、なかには「来年もやりますか?」「いつ、やっていますか?」などの質問もありました。

当委員会では、本年度もウッドクラフト事業を計画しています。多勢の皆様のご協力をお願い致します。

26年度の事業計画

- ・ウッドクラフトの企画・運営
- ・支部連絡網の整備
- ・応急危険度判定 連絡網の整備
- ・一般の方と廻る建物見学

以上の様な計画を予定しています。

多勢の皆様にご参加とご協力を頂き、建築士会の社会貢献に役立てればと思います。

至らぬ委員長ですが、皆様のお力をお借りして、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

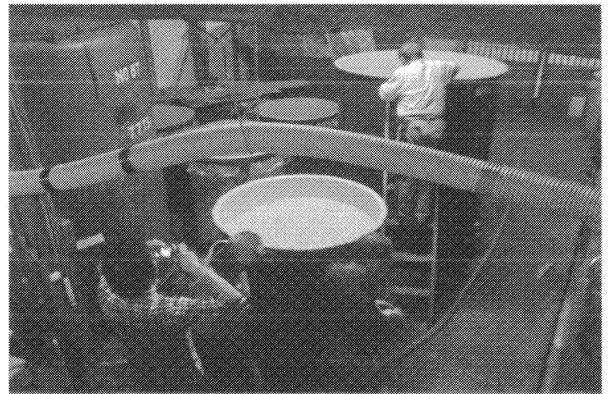


平成26年度 情報広報委員会の活動について

情報広報委員長 山浦 孝志

委員会活動は、会報「ちくま」の年2回の発行及び佐久支部ホームページの活用充実と大きく分けて2つの活動です。

第1回委員会を6月24日(火)に開催し26年度の活動方針を決めました。



会報「ちくま」の表紙写真、【佐久の蔵元】シリーズは今回発刊される51号の芙蓉酒造で11件目となりました。

編集委員で写真撮影と取材にお邪魔させていただくのですが、毎回快く受け入れて下さり、建物の説明・醸造工程・苦労話・お酒の話等の説明を受けながら1時間程度の写真撮影と取材をさせていただきます。

今回も社長さん自ら案内していただきいろいろなお話をお聞きしながら、和やかな雰囲気の中で写真撮影と取材ができました、大変ありがとうございました。

また支部会報「ちくま」は会員の方々の協力で成り立っています。より良い内容にするためにも皆さんの協力が必要です。これからも原稿依頼のお願いには快く受けて下さいますようお願い致します。

委員の皆さんと楽しみながら委員会活動を行っていきたくと思います。

平成26年度 青年女性委員会の活動について

青年女性委員長 重田 仁志

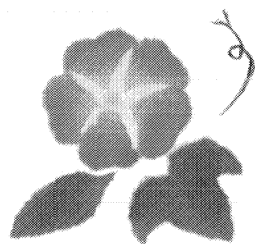
今年度の青年女性委員会の活動の中心となるのが、昨年佐久穂町で行った活動同様、県の元気づくり支援金事業で、『小諸市の既存近代建築物再考によるまちづくり』～景観保全及び活性化事業～という名のもとに行う活動です。信州大学の武者准教授をはじめ経済学部の学生に協力頂き一緒に進めていく方向です。

すでに、5月・6月と小諸市にて現地調査も開始しています。7月には活動の方向性も具体的に見えてくると思います。小諸市での活動ということでやはり地元小諸市の会員の皆様方には特に御意見、御協力頂くことがあると思いますがその時は宜しくお願いします。

その他の活動としまして、6月には『佐久南インター景観をつくる会』の活動で泉小学校6年生を対象として景観授業・花植え作業、関ブロ『東京大会』参加、秋には春に植えた花マスの草取り片付け・アダプトの看板作成などの活動が予定されています。又その他の委員会活動、イベントなどにも極力参加協力していきたいと思えます。

近年、委員会活動は活発になり委員の皆も積極的に活動に参加しがなっています。

委員同士コミュニケーションをとりながら今年度も活動を進めていきたいと思えますので宜しくお願いいたします。



平成26年度 交流委員会の活動について

交流委員長 柏木 邦彦

本年も、引き続き委員長を務めさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

平成25年度は、ソフトボールが雨天中止、会拡大事業は賛助会員との意見交換会のみとあまり成果を上げることができなかったように思われる一年ではありましたが、10月行われました。

ネットワークは、委員会報告「佐久穂のまちなみ再考」、阿部知事の特別講演会と盛大に開催されました、皆様のご協力感謝申し上げます。



先ごろ開かれた委員会にて今年度の活動計画を下記のように計画いたしました。

1. セミナー（教育事業委員会と協力）

平成26年6月28日(土)午後1時30分～午後4時まで

佐久勤労者福祉センター

2. 親睦ソフトボール大会

平成26年8月30日(土)午前8時～

県民グラウンド

3. 建築士ネットワーク・2014

平成26年10月25日(土)午後1時～

佐久グランドホテル

4. 会員拡大事業

日時 検討中

佐久グランドホテル

特に4の会員拡大事業に関しまして、広く会員の皆様の声をお聞かせいただき、会員の拡大に繋がりたいと考えております。

今まで以上のご指導、ご協力、ご参加を宜しくお願い申し上げます。

新年講演会 「香山壽夫先生から頂いた言葉」

鎌田 賢太郎

平成26年の新年講演会は、香山壽夫先生に御講演を頂いた。香山壽夫先生は、ルイスカーンを師事し、東京大学名誉教授にして、香山壽夫建築研究所所長を勤める日本を代表する建築家。



講演内容とは少々関係ないが、私は個人的に香山先生にお会いするのは3度目となった。初めてお会いしたのは、私が23歳の15年前に遡る。私の大学の恩師が香山先生の弟子という縁もあり、学生時代に香山建築研究所にお邪魔させて頂いた。ガチガチに緊張して事務所を見学させて頂いたのだが、当日は香山先生の「2m程ある丸太のノコギリ」のお宝自慢で終わってしまった。2度目は軽井沢の別荘を見学させて頂き、3度目にこの講演会となった。

「東京大学名誉教授」と聞くと、難解で小難しい内容の講演をイメージしてしまいがちだが、香山先生の講演では「建築意匠は、身近な事象や生活によって築かれた文化と芸術」である事をユーモア満載の表現で講演して頂いた。世界各地の建築文化を自ら体感し、建築意匠を歴史的な局面から学問として確立されている。

講演内容も興味深かったが、それ以上に香山先生の人柄に大変魅了された。知的で品がありながらもユーモアに溢れ、所々で放り込まれる冗談にはヤンチャな一面も垣間見える。これは軽井沢の別荘を見学させて頂いた時の話だが、香山先生は別荘生活の楽しみは「薪割りや草むしりをして、畑を荒らしにくるサルを追い払う

のが何より楽しい！」と仰っていた。都会生活が故に薪割りや草むしりを楽めるのでは？とも思えるが、どうやら感性が違っているように感じた。菜園に盗みに入るサルを憎まず、自然の中に身を委ねたら山の生存競争の土俵に上がって、そこで遊んでいるかのような捉え方。この感性の豊かさが建築家としての魅力につながっているような。事務所見学の際の「2mの丸太ノコギリ」のお宝自慢も、今思うと建築の起源の面白さを見せて下さったのか？と思わせるような。私の勝手な過大解釈なのかもしれないが、人間の豊かさが建築家としての深みにつながっているように感じさせられた。

前置きが長くなってしまったが、香山先生は講演の冒頭で『建築を職業として選んで本当に良かった。建築という職業が僕の人生を豊かにしてくれた！』という建築の職能への喜びから始まった。やりがいのある職業に出会え、自分の生涯を投じられている事の幸せ。大先輩のこの言葉には、とても勇気づけられる。自らが望む職業を見つけられずに悩み、見つかった後も一歩踏み出すことに悩み。私はそんなトンネルを抜けて今に至る。望んだ職業に従事出来ている事への感謝。日々の仕事に追われると忘れてしまいがちであるが、改めて初心に立ち返らせて頂くキッカケを頂いた。そして講演の中で最も印象深かった言葉が

『楽しい仕事は楽(らく)ではない。

楽(らく)な仕事は楽しくない。』

同じ【楽】という字であるが、2つ意味を同時に満たせない真理のような言葉。

楽(らく)して儲かれば良しとするか。

苦労は多いが、楽しい仕事がしたいのか。

「建築を職業として選んで本当に良かった！」私もいつか、この言葉を胸張って口に出れるように、イバラの道を楽しみながら歩いてみようと思う。

県政ティーミーティングに参加して

新津 輝秋

6月12日に行われた、「県政ティーミーティング」に参加してきました。県政ティーミーティングとは、長野県企画振興部のプレスリリースによると「県民参加の開かれた県政の推進を目的とし、先進的な取り組みを行う県民の皆さんと知事がお茶を飲みながら県政に対する意見やご提案を語り合う」とあります。今回は



私たち長野県建築士会佐久支部青年女性委員会が県知事との対談の対象となりました。

今回私達青年女性委員会が選ばれたのは、佐久穂町において平成24年度から25年度にかけて行われた一連の事業「佐久穂のまちなみ再考」が、県の元気づくり支援金を活用した事業として課題に挙げていた

1. 地域密着型の地域活性化事業。
2. 信州大学という研究機関との共同事業である事。
3. 全体を通じ、地域おこしのフォーマットになりうる事業である事。

といった、三点が高く評価されたこと。そして、一連の事業が日本建築士会連合会会長賞など各方面においても注目された事業であったことが大きいかと改めて感じました。

さて、当日は今回の事業の活動の舞台となった佐久穂町八千穂駅八千穂駅周辺の町並みを知事に視察してもらう意向もあり、ミーティング

の場所を旧黒沢醸造近くにあるギャラリーくろさわに設定しました。駅前にある奥村土牛記念美術館からギャラリーくろさわまでの約200mの町並みを青年女性委員会代表者4名にて案内しました。駅前通りに今なお残っている明治から大正にかけて建設された木造建築の中には古道具屋や小民具屋として改修され再利用されている建物もあり、知事は興味深そうにこれらの再生事例や町並みを見ているようでした。

ギャラリーくろさわでのティーミーティングには、支部長および今回の事業に関わった青年女性委員会の中から10名のメンバーが参加しました。会場には旧佐久町から八千穂村にかけて信州大学武者ゼミナールと共同で行った調査や地域住民、行政との共同作業で行った旧黒沢醸造の清掃ボランティア活動など、一連の授業の写真や資料を展示しそれぞれの資料を見ながら知事との懇談となりました。

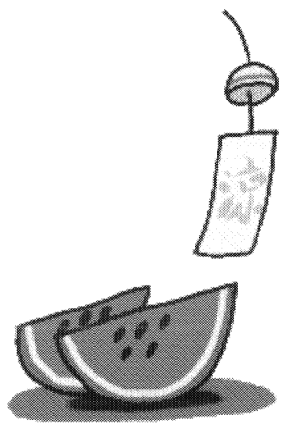


ミーティングの内容は、まちづくりや地域おこしといった事から、教育や子育てにまで及びました。特に印象深かったのが、当委員会で平成22年度の元気づくり支援金事業を契機に継続して実施している景観授業に関する意見交換でした。当初は授業の対象児童に対し、景観という概念を知ってもらう事に主眼をおいてきた

取り組みでしたが、佐久穂町での事業を経て委員会活動を地域を拠点に行うようになってからは景観を知る授業であるとともに、児童に自分たちの暮らす地域の特徴や歴史を知ってもらう契機となる授業を心掛けています。

地域に愛着を持ってもらい地域に誇りを持ってもらえるような授業となるよう心掛けているという当委員会の景観授業のコンセプトが、今後急速に進むであろう地域の過疎や若者の地域離れに対する対策や、若者が地元に戻ってきたくなくなるような地域づくりや若者の意識の向上のための、一つのきっかけとなりうるのではないかと。といった意見も出され、今後の景観授業のあり方やより地域や学校と密着した地域実践活動の在り方のヒントをもらえた意見交換でした。

また、二地域居住や空き家の活用方法など今後建築士と行政が一体となって関わるべき問題についての意見交換も行われたのですが、地域や行政が求める建築士像というものが、「建物を建設する能力」という枠を超えて「街や地域をつくる能力」に変化してきていることを強く感じられました。今後の青年委員会の活動のヒントをもらいつつ県知事との意見交換という貴重な会に参加させてもらい個人的にも刺激をもらうことができ感謝しております。



特別寄稿

建築する心

長野県建築士会名誉会長 出澤 潔

「私は建築の仕事を選んで本当に良かったと思う」で始まった香山壽夫先生の新年講演会は私の怠惰な眠りを叩き起こす機会となったように思います。

私が建築を志して、以来何年になるのでしょうか。先生・友人・先輩・仲間・地域の皆様など多くの人達から様々な機会に、様々なかたちで建築について教えられ、学び、年を重ねてきました。そして、建築が自分の生活の全てであった時もあったように思います。

少しばかり社会のことを知り、建築の世界を知り、そして建築の持つ力に疑いを持つようになり、自分の力不足に加えて日頃の雑事にかまけ、何時からか私に建築する心が薄れてしまっていたように感じます。

人の生活を支え人の心を育て人の絆となるものであって欲しいと考えていた建築が、何時からか目に見えるものや皮相的な判りやすさなどへの価値に人の視点に移り、経済優先・スタイル優先の建築が街に溢れ、建築が共同体としての街の財産でなくなり、他の物品と同じような私有物となっていました。そして、そうした事は時代の流れの中では一部正しいことでもあり、その事を否定することは自分の生きる世界を否定することでもありました。

「建築の仕事ってどんな意味があるのだろうか。生きる糧のためなのだろうか？」建築に一生懸命向きあえば向きあう程モヤモヤしたものが心に溜まっていったように思います。

「建築の仕事は人間の生活や全ての人に関わる仕事であり手応えのある仕事。それだけに苦しみも楽しみもある」と続ける先生のお話に、私は強い衝撃を受けました。そして、自分に負けている、甘えていると目が覚めたような気がしました。

帰宅して、本棚から先生のご著書を探し出し机の上に並べてみました。並べられた数冊の本には所々にアンダーラインがあったりクエスチョンマークがあったりして、ずいぶん前に読み込んだものだろうと思われました。でも恥ずかしいことにその詳しい内容を思い起こすことは出来ませんでした。建築に希望を持っていた頃、光を見る思いで本を広げたのだろうと思います。

あんなに素晴らしい事がこの本達の中にあるのだと、早速読み直すことを始めました。そして、先生の建築への思いを様々な言葉の中から感じる事が出来ました。それらの全てには人への愛、人への奉仕の心が底流としてあるのを強く感じました。

過日、他会の仲間の会合がありました。フランクな意見が飛び交うアットホームな席で、設計の仕事とは直接的に関係のない女性の方から「皆さんは日々住宅の設計をされているだろうが本当に人の生活を知って設計されているのだろうか？ 厨房に入ったことはあるのだろうか？」という強い発言がありました。私は今の時代の姿を反省させる鋭い意見だと思いました。この事は建築に限らず社会全般に顕在化しつつある事象であるように感じるのです。

吉村順三先生が中村好文さんとの対談で「本当に誠意をもって造ったものは本物だと感じるね。最近なんだか建築が変になっちゃってるだろう。だからさ、ああいう純粋な気持ちを感じられるような素直な建物(ペンシルベニア周辺のコロニアル時代の住宅・納屋など)を少し見しておく必要があると思うんだよ。反省の意味でもね」と話されています。

香山先生が「建築の姿が見えにくくなっている。利便性・経済性の追求になっているように思える。住まいが熊や狐の穴と同じものになっている」と私達に論されたことと何か共通しているものがあるようにも感じます。

建築を改めて考える機会となった新年講演会は、私にとって素晴らしいお年玉になりました。

私達の身体の中に建築が住み込み、日常的に

顔を見せるような共通の場が、いつか醸成されることを願いつつ……。

着任挨拶

着任の御挨拶

三宅 隆徳

4月の人事異動により佐久地方事務所に配属となり、皆様と一緒に仕事をさせていただくこととなりました。三宅隆徳(みやけ たかのり)と申します。

平成27年3月の新幹線金沢延伸を控え、東京からの玄関口でありますこの佐久地域に配属となり、しかも軽井沢を担当させていただくこととなりました。長野県の顔となる佐久地域の発展の一助となれますよう全力で取り組んで参りますので、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

私は静岡県の生まれですが、大学・社会人～県職員と長野県で過ごしたため、長野での生活の方が長くなりました。冬の寒さにも慣れ、身も心も長野県民となり、今では時に北信の方言が出てしまうほどです。

長野市に居住しており、昨年まで通勤時間が徒歩15分と非常に恵まれた勤務地でしたが、4月からは新幹線と原付バイクを駆使しても通勤に1時間強を要すこととなり、改めて佐久合庁の立地の不便さを痛感しています。(皆様、ご不便おかけして申し訳ありません)

さて、建築士会の佐久支部は、「まちづくり」に熱心に取り組んでおられると聞いております。コンパクトシティが叫ばれるようになった今日において、「まちづくり」は単なるハードのインフラ整備ではなく、既にある地域資源を保存・再生しながら、まちの魅力・活力を向上させる、地域空間のマネジメントへとシフトしています。

そして、そのマネジメントは、都市計画といったマクロの部分から一つの住宅・建築物の利

用者や生活スタイルなどのミクロな部分にまで精通した建築士の皆様の知識と経験・能力が最も生かされる場であると思います。

皆様の御活躍によって佐久が魅力ある地域となることをお祈りするとともに、そこに少しでも携われればうれしく思います。せっかくの現地機関ですから、皆様の活動にも参加させていただき、皆様と身近な存在となれますよう、事務所にお越しの際は是非、（用が無くても）ひと声かけてくださいね。



着任の御挨拶

青木 雄佑

梅雨も明け、本格的な夏を迎えましたが、皆様におかれましてはご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの四月に新規任用され佐久地方事務所建築課に配属されました青木と申します。生まれは松本、学生時代は長野に五年ほどおりましたが、就職で愛知の民間会社で住宅の現場監督と積算業務に8年間携わってきました。この四月久しぶりに長野に帰り新しい生活がスタートしました。行政の仕事はまだまだわからないことが多く、諸先輩方や建築士、業者の方々に日々教わりながら慌ただしく過ごさせていただいております。

さて、建築行政についての展望などはなにもわかっておりませんので自分の好きな話をさせていただきます。これから夏の暑さが増々まいていくことでしょう。よく「心頭滅却すれば火もまた涼し」という言葉を兄の権力で弟に理不尽に言い聞かせたりしてきましたが、これは武

田信玄が帰依した快川禅師が中国の故事からとった言葉と聞いております。

快川禅師は武田家が滅んだあと信長に教を請われますが、これを固辞します。武田残党の結束を案じた信長は寺の焼き討ちを行いました。このときの言葉として残したのが「安禅は必ずしも山水を須いず 心頭を滅却すれば火も自ら涼し」です。

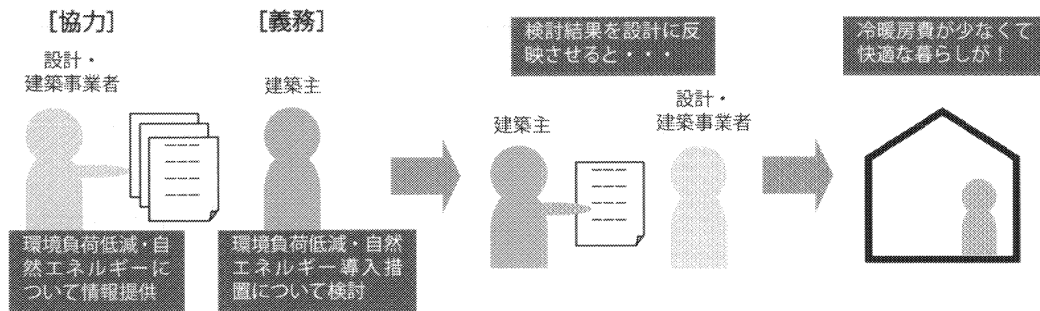
気になって少し調べたところ昔のある僧がこう言ったそうです。「暑さ寒さに耐えられないときはどうしたら良いか。暑さ寒さを感じないところへ行けばいい、それは特別なところではない、周りの環境に同化すれば良い。」私たちは夏は海に、冬は山に喜んで遊びに行きます。そのとき暑さや寒さにとらわれているのでしょうか。私は少なくとも普段の生活よりはそれを感じません。

これは暑さ寒さに限ったことではなく何かの困難に直面した時、嫌だな・・・とやってやるか、おもしろい！とやってやるかの違いではないかと思えます。まだまだ私はそのように考えることができませんが、できるだけ「自ら涼しく」過ごしていきたいと思えます。皆様におかれましてもこれからの季節「涼しく」過ごされますようご祈念して挨拶と代えさせていただきます。



長野県からのお知らせ

建築物環境エネルギー性能・自然エネルギー導入検討制度がスタートしました。



環境エネルギー性能の検討

建築主は、建物を新築（建替え）するときには、環境への負荷の低減を図るための措置について検討しなければなりません。なお検討にあたっては、ライフサイクルコストを考慮した総合的な環境への負荷の低減を図る措置について検討する必要があります。

設計・建築事業者は、次の環境エネルギー性能評価指標のいずれかを使って建築主に説明しましょう。これらの指標は、建築物のエネルギー消費量等を客観的に示すことができます。

- CASBEE-新築（一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構）
- CASBEE戸建-新築（一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構）
- QPEX（特定非営利活動法人 新木造住宅技術研究協議会）
- エネルギーパス（一般社団法人 日本エネルギーパス協会）
- 住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム（独立行政法人 建築研究所）
- 一次エネルギー性能の判定プログラム（建築物用）（独立行政法人 建築研究所）

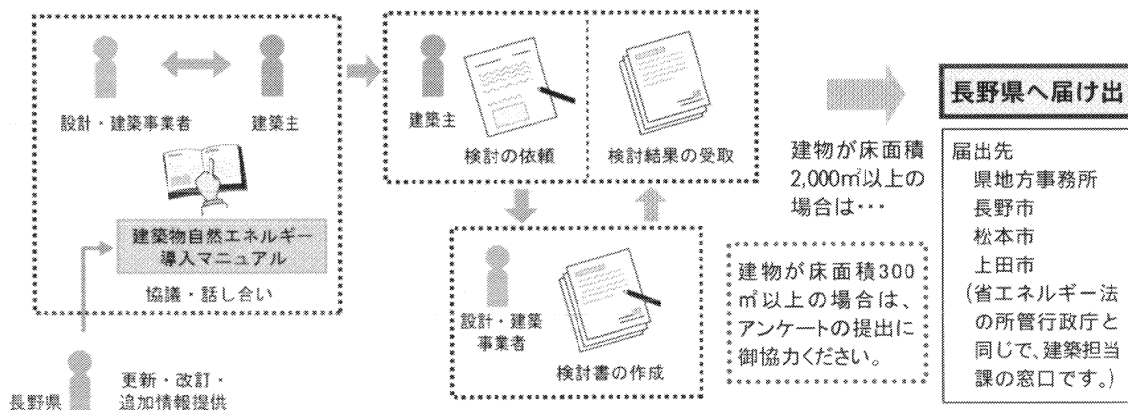
自然エネルギー導入の検討

建築主は、建物を新築する際に自然エネルギー設備の導入について検討しなければなりません。戸建住宅に導入を推奨する自然エネルギー設備は次のとおりです。

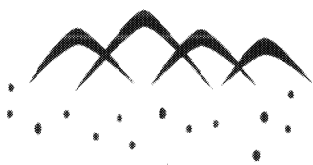
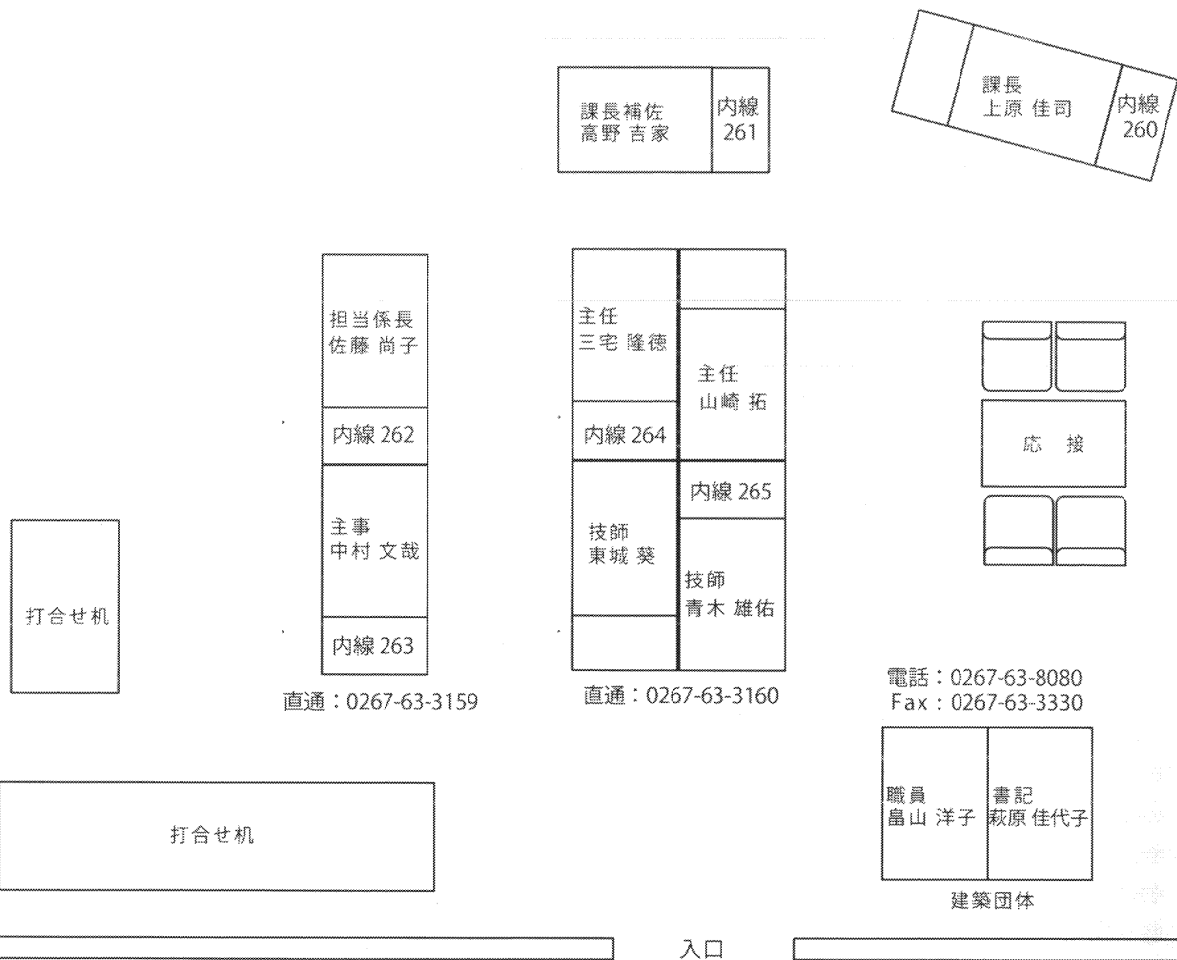
- 太陽熱利用設備（太陽熱温水器、ソーラーシステム等）
- 太陽光利用設備（天窗・水平ルーバー、太陽光発電設備等）
- バイオマス熱利用設備（薪ストーブ、ペレットストーブ、チップボイラ等）
- 地中熱利用設備（ヒートポンプ空調（冷暖房）システム等）

検討内容とその結果の届出

建築主は、床面積が2,000㎡以上の建築物を新築する場合には、上記の評価結果や導入する自然エネルギー設備等について「環境エネルギー性能計画届出書」に記入し、建築物の工事着工前に県へ届け出ます。



建築課配置図



● 編集後記 ●

「毎回、編集員数人で佐久地方の酒造所を訪問し、取材しています。

今回も快く歓迎していただき、社長さんから説明を受けいろいろ勉強させていただきました。

本当に感謝申し上げます。

これからも美味しいお酒を造り続けてください。

影ながら応援しています。 (K. K)

会報『ちくま』第51号 2014/7
 発行者 (一社)長野県建築士会 佐久支部
 情報広報委員会
 事務局 〒385-8533 佐久市跡部65-1
 佐久地方事務所内
 TEL 0267-63-8080
 FAX 0267-63-3330
 E-mail: ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
 支部HP <http://www.aba-saku.com/>
 印刷所 プリントショップ コスモス
 TEL 0267-54-8010



は平成27年1月中旬予定です。